日刊【1】（除月曜）　昭和25年10月6日第三種郵便物認可　昭和26年7月16日運輸省特別認承扱第684号

磐城日日

昭和27年（1952）8月29日（金曜日）　第617號

發行所　磐城日日新聞社
福島縣小名浜町港通51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人　長澗芳郎

各種印刷ノ御用命ハ是非
物紙　用務　印機　関
事チラシ・帳・刷
長瀬印刷所
小名浜町　電219

大野衆院三日議長 十四國會を解散

選挙は十月一日に施行

氣息エン〳〵余喘を保っていた吉田内閣は二十六日十四國會召集劈頭から野黨の連合一齊攻撃を受けてタジ〳〵の体であったが遂に大勢に抵抗しきれず二十八日正午大野新任三日議長は遂に憲法第七條により議會解散を宣し議場は一瞬喝采を拍し騒然となった、更新議員によって再建日本の動向を決する衆議院議員選挙は九月五日選挙告示、十月一日決行される

小名浜町某議員談

大野伴睦氏の議長就任から解散早しの感がヘッキリと浮び今日を予想した、補正予算上提前に解散することは当然の政治常識である

縣兒童相談所

平舊城跡に敷地決る

平市に設立予定の縣兒童相談所は敷地問題で行悩んでいたが、舊城跡杉平地區に公共機關のためなら自分の土地を開放しようという特志家が現れて急速に進展、二十八日午前十一時平着列車で井澤縣兒童課長が現地視察に急遽来平地方事務所本田兒童福祉司、千葉平市福祉事務所長らの案内で現場視察の結果平市北郊の同地は環境も兒童相談所設置に申分なく、早速二百坪を分譲して貰う事にトン〳〵拍子で話が纏り、總工費二百万円で縣直営工事により可及的速かに建築工事に着手する運びとなったが九月中には完成させたいと当局は意氣込んでいる

各是調査機関の提唱

―只見・鹿島問題につながるもの―

吉田首相の任期一パイ固執説もどうやら影をひそめて、早期解散は必至の情勢となってこの政權亡者の上に大きくのしかゝり、池田の減税ゼスチヤーから衆院の俄か委員問題再検討説など、選擧戰前の慌しい空氣の中で澄明な秋空が覗かれるその昔政黨政治の全盛時、その対立意識は特に目醒ましく政黨個有の正常な政策イデオロギーよりむしろ政敵意識が上廻った時代……「政友」「憲政」の名が大きく登場する、一方が政權を奪取すると各省内の主脳部は勿論全國の知事級まで一齊に罷首のすげ変えが行われ、政黨色とその臭氣は村長から村の片隅の区長に至るまで侵透しその余蔽も亦尠くなかった即ち前政權により着手された事業はその善悪の検討を俟たず放置され次期政權が巡り来るまであたら尊い資材と施設が腐ってゆく極端な例まで数多い「ア奴がやった仕事だ」の感情論出である、それでもまだ吉田行政の如く重大な施策が議員の知らぬ間に怪しげな書簡一本で決定するというが如き出鱈目な無暴性は尠く共議会に於ては行われなかった、にも拘らず前述の如き欠陥は厳しい得べくもなく大小の影を落して今日まで上は國政から下は縣政、市町政に至るまでその余弊を殘している、卑近な例を擧げるとちかくは平市政における前、現市長派の泥試合行政の如く、或いは只見電源開発を巡る福島、新潟兩縣の兒戯的立ち廻り、殊に新潟勢の政治的洞喝に至つては鼻持ちならず、事態は今日東電の北電水利取消訴證から追つかけ訴證の行政處分の執行停止申請まで発展して、自由黨の總務会まで踊つている、

石城郡町村長会は廿七日午前十一時半より小名浜町公民館に郡下の全町村長出席、横山縣町村長会長、箱崎石城地方事務所長、今芳賀衆長臨席のもとに開催、松本會長議長席に着き芳賀衆長より次の報告事項があった

一、非常勤消防團員災害補償組合設立について

一、鮫川水利について

次いで協議に入り

第一号＝縣体育大会協賛金について

協賛金十萬円を各町村平等割一千四十円、戸数割一戸當り八十八銭資力割一千円に對し一円九十銭と決定

第二号＝地方事務所廳舎増築寄附金について

總額四十五万円のうち平市より十万円寄附の見透しがあり、残三十五万圓を平等割一ヶ村三千六百円、戸数割一戸当り一圓九十銭、資力割千圓に対し四圓五十銭を承認九月三十五日まで納入することになった

第三号＝小名浜築港促進要望について

小名浜港は本縣唯一の商港であり、また漁港避難港としても東北に於ける最も重要な港の一つで小名浜商港としての施設整備こそ当地方産業振興に至大なる影響をもたらすものであり、仝港の早期完成は只見川電源の開発と相まって二百万縣民の渇望するところであり、町村町会も各関係方面へ強く呼びかけることに決定した

第四号＝共同募金の減額陳情について

共同募金は年々増加しており目的達成は不可能の状況にあり

①募金額は昭和二十五年度の額を越えないこと

②現行の町村還元率一〇%を二〇%とすること

の二項を目標に減額の要望をする

第五号＝磐越東線改善並に列車時刻改正に關する陳情について

近く行われる列車時刻の改正に當り次の四項を陳情することになった

①客車を常磐線、東北本線並にされたい

②二等客車の連結

③平、福島間の直通列車を一日二本程度運転されたい

④郡山の連絡時間を短縮されたい

第六號＝寒冷地手当支給地区分引下反對陳情について

平市及び小名浜町など一市九町十二村は現在の寒冷地手当を半額に引下げられるので旧級地に復元するよう關係方面へ陳情することになった

また芳賀衆長は「各町村は史自給與にも財政上非常に苦しんでいると思う、陳情の案も寒冷地手當の復元ばかりでなく運営面でも獲得されるよう説明があった

第七號＝公明選擧運動について

國会の解散をひかえて各所に事前運動が活発化してきたため全國的に選擧の明朗化が叫ばれている

町村会としても予算を計上して郡に連絡機関を設け各町村の選擧管理委員會を通じて青年会、婦人会、社會福祉団体などに呼びかけ強力な運動を行うことになった

第八號＝福島縣自治會館建築について

本件は過般の會議に於いて決定したものであるが縣総会に於いて一部反対があり、臨時總會を開催して決定することになっている旨横山縣町村長会長より報告があり、大浦、草野勿來の各町村長より質問があったが結局これを認めることになった

次いで内郷町長より縣廳が新築されるが郡山に移轉が出来なかったことは行政の運営上からも経済的にも相當の痛手があると發言あり、横山會長は交通面に於いてカバー出来ると回答、續いて松本会長より種々報告事項があって午後二時閉會した

小名浜開催の町村長會

築港促進の陳情

寒冷地級の復元運動等決議

菊多方部の中學校長會

菊多方部中学校校長協議會は二十八日午前十時より川部中学校に於いて開催され、次の議題について協議した

一、体育大會の反省

二、職業家庭科技術交換会について

竹細工…高木勿來中学校長

木工…園部植田中学校長

手藝…佐川川部中學校長

三、各學校二學期の行事について

十月中習字コンクール、工作交換会、音樂コンクール、研究會、厩學（植田）英語（錦）体育（川部）

賣家
家屋建坪十五坪（瓦ブキ）
六疊二間・三疊一間・二疊一間
別棟　物置二坪
姓名在社

堅牢日本一の
橫濱ゴムタイヤ
自轉車用　1 3/8 吋チユブ付　1本　800円
運搬車用　1 3/4 吋　〃　〃　1 300円
リヤカー用　2 吋　〃　〃　2.050円
ウオター　外各種　ホース　ゴムV　平ベルト　皮革
石綿　グランド綿　アマゾン　外各種　パツキング
興榮工材株式会社
小名濱出張所
小名浜町本町26　電話(呼)545番

越
小名浜
藤越
最高級毛純トップ染
カネボー手編毛糸
本年の流行品六七色を取揃へ
半ポンド・九〇〇圓

新菓特許
アイス（チヨコレート）ロール
【壹ヶ拾円】
本品は夏季趣好品として絶対口あたり良く
お年寄の方にも召しあがれます
栄養百パーセント
製造販賣所
松田屋冷菓店　小名浜町中島　電四二
熊田屋菓子店　小名浜町西町　電五五四
まるた　小名浜町古港　電三三〇

農協統合は時期の問題
本部設置が難点
双方農協に促進委員會

去る十一日の町会に於いて一町に二つの農協のあるのは行政的にも財政面にも何等益するところなく、農村振興がやかましく叫ばれている今日農協發展の觀点から一本化すべきであると小名浜、玉川両農協の統合に乗り出すことになり、以來話合を進めてきたが農協も望むところであるとして、統合促進委員会を結成して積極的に一本化に本腰を入れてきた、これについて石城地方事務所でも斡旋に協力をすることになり町當局を通じて統合打合會開催方の申し入れがあり、高橋縣農協組合課長が田人農協統合問題のため来郡したのを機会に二十六日正午より小名浜町公民館に於いて高橋課長を始め縣教育指導連坂本支部長、大竹地方事務所經濟課員、水野小名浜町長、橋本町議らに長瀬、駒木根両組合長外双方の理事、監事多數參集して一町二つの農協のあるのは行政的にも財政面にも何等益するところなく、農村振興がやかましく叫ばれている今日農協發展の觀点から一本化すべきであると小名浜、玉川両農協の統合に乗り出すことになり、以來話合を進めてきたが農協も望むところであるとして、統合促進委員会を結成して積極的に一本化に本腰を入れてきた、これについて石城地方事務所でも斡旋に協力をすることになり町當局を通じて統合打合會開催方の申し入れがあり、高橋縣農協組合課長が田人農協統合問題のため来郡したのを機会に二十六日正午より小名浜町公民館に於いて高橋課長を始め縣教育指導連坂本支部長、大竹地方事務所經濟課員、水野小名浜町長、橋本町議らに長瀬、駒木根両組合長外双方の理事、監事多數參集して一町に